

高体連の出場枠について（新年度）

条件付きの3複3単に

条件付き3複3単の出場枠が決まった経緯

強い弱いにかかわらずできるだけ（他の大会同様）多く選手を参加させたい意見と、1校が全道枠を独占しない等の従来の高体連（制約された大会）を実施する意見と分かれました。

どの学校も3複3単にした場合の物理的な時間の制約についてクリアーするため、結果として落ち着いた意見は、『新人戦（個人戦）または春季大会においてベスト8に入った学校の同じ種目については3複3単まで認める』というものでした。

その意図については、選抜や国体の道予選で活躍した学校だけを3複3単としたのでは、「できるだけ多くの選手を参加させる」という趣旨に合わないのと、『「地区大会ベスト8」はどの学校においても実現可能な目標となりうる』ということからでした。

もちろん個人戦については16校以上の選手が出場しなければ上記の決定事項は無に帰すこととなりますので、そのことは前提条件となります。

また、新年度の高体連支部予選会ですが、当番校側含め、顧問の先生方の反省会議で検討し、初日は団体戦の準決勝まで、2日目が団体決勝（3・4位）とダブルスの決勝まで、最終日はシングルの決勝まで行うこととしました。これは各日の終了時刻ができるだけ均等になるように、選手・先生方の疲労・負担を考えてのことです。

高体連支部予選で3複3単が認められる学校

男子複 湯端・齋藤、小林・白川、吉田・高谷（大谷）、佐々木・下田、富岡・衣原、喜多・下尾、鈴木・三島（江陵）、平野・田中（三条）、奥秋・松川（音更）

男子単 湯端・小林・吉田・白川・齋藤・高橋（大谷）、佐々木（江陵）、奥秋（音更）

女子複 岩間・大友、苅込・只野、関口・六日市、上田・村中（大谷）、西尾・渡、佐々木・相川（南商）、牧野・齋藤（柏葉）、黒澤・黨崎（三条）、佐藤・室崎（農業）

女子単 只野・関口・岩間・苅込・六日市（大谷）、齋藤（柏葉）、渡（南商）、廣尾（江陵）

小林純幸杯春季大会でベスト8に新しく入った選手

男子複 吉田・小川（大谷）、佐々木・菊谷（三条）

女子複 伊藤・田中（柏葉）、上田・田中、村中・守山（大谷）

男子単 小川（大谷）

女子単 上田（大谷）

以上の学校に枠が与えられるので、出場選手について制限するものではありません。